

---

# 令和7年度 湯沢市の財政状況

(令和7年9月30日現在)

---

湯沢市財政状況の公表に関する条例に基づき、令和7年9月30日現在の財政状況を公表します。

【担当】 総務部財政課

# 一般会計 歳入予算の執行状況

令和7年度予算に対する歳入の執行状況です。（令和7年9月30日現在 予算に対し、どのくらいの収入があったかを表しています） ※前年度から繰越ししている事業を含む

地方公共団体が一定の水準の事務を行えるよう国から交付されるお金です。

## 地方交付税



国から交付される負担金や補助金などです。

## 国庫支出金



市民の皆さんや市内に事務所を持つ法人などに納めていただく税金です。

## 市税



主に基金を取り崩して一般会計へ繰り入れるお金です。

## 繰入金



県から交付される負担金や補助金などです。

## 県支出金



資金を調達するための借入金のこと、複数年度で返済します。

## 市債



県が徴収した地方消費税が一定の配分により市町村へ交付されます。

## 地方消費税交付金



前年度の決算で余ったお金です。

## 繰越金



他の収入科目に該当しない収入で、預金利子、貸付金元利収入、雑入などがあります。

## 諸収入



寄附を受けたお金です。

## 寄附金



その他（地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、環境性能割交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入）

## その他

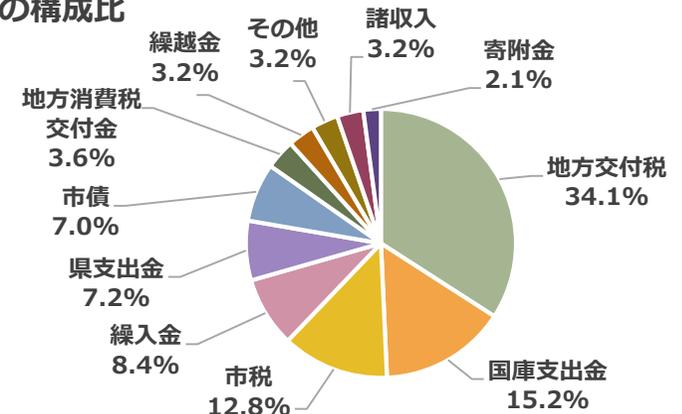


## 歳入

■ 予算現額 ■ 収入済額

予算現額 331億3,852万円  
収入済額 141億6,124万円  
収入率 42.7%

## 予算の構成比



令和7年度予算では、地方交付税、国庫支出金、県支出金、地方消費税交付金の合計が60.1%であり、国や県からの収入に大きく依存した予算となっていることがわかります。



# 一般会計 歳出予算の執行状況

令和7年度予算に対する歳出の執行状況です。（令和7年9月30日現在 ※前年度から繰越ししている事業を含む）  
 予算に対し、どのくらいの支出があったかを表しています。

高齢者・障害者・児童などの福祉の増進のための経費です。	<b>民生費</b>	31億8,480万円	87億7,413万円
住民票や戸籍、税務、選挙など市の全般的な運営のための経費です。	<b>総務費</b>	20億8,768万円	60億3,413万円
健康診断やごみ処理など、保健や環境衛生のための経費です。	<b>衛生費</b>	14億7,720万円	35億5,123万円
市の借入金の返済金です。	<b>公債費</b>	14億8,866万円	29億2,391万円
道路や橋、公園などの整備やまちづくりのための経費です。	<b>土木費</b>	4億5,909万円	28億4,603万円
学校教育や社会教育などのための経費です。	<b>教育費</b>	9億8,989万円	27億9,034万円
商工業や観光の振興などのための経費です。	<b>商工費</b>	10億2,022万円	16億5,497万円
農林業・畜産の振興や基盤整備などのための経費です。	<b>農林水産業費</b>	5億1,240万円	14億4,230万円
消防団の活動、災害対策などのための経費です。	<b>消防費</b>	5億9,970万円	13億2,722万円
基金への積立金や繰出金です。	<b>諸支出金</b>	31万円	12億4,919万円
議会費、労働費、予備費、災害復旧費の合計です。	<b>その他</b>	3億5,746万円	7億2,759万円

### 歳出

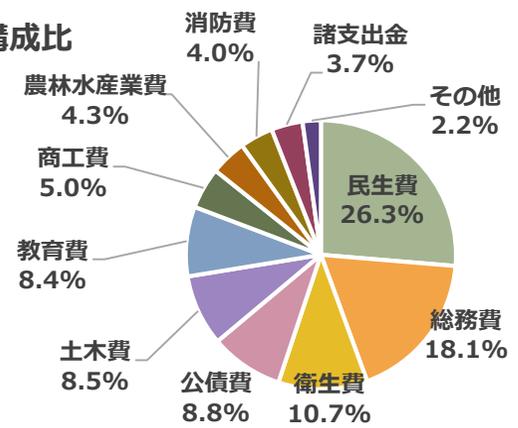
■ 予算現額 ■ 支出済額

**予算現額 333億2,104万円**  
**支出済額 121億7,741万円**  
**執行率 36.5%**

予算の構成比では、公債費が全体の8.8%を占めています。公債費の割合が増えると財政を圧迫することになるので、公債費が増えすぎないように市債の借入を調整する必要があります。



予算の構成比



# 市税の収入状況

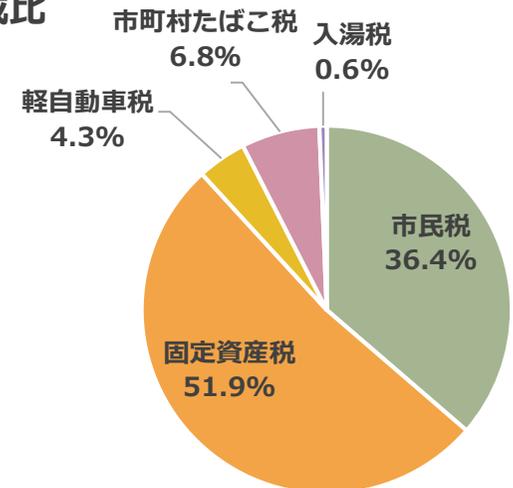
令和7年9月30日現在の市税の収入状況です。

区分	予算現額	収入済額	収入率
市民税	15億4,629万円	9億 789万円	58.7%
固定資産税	22億 512万円	14億3,616万円	65.1%
軽自動車税	1億8,291万円	1億7,642万円	96.5%
市町村たばこ税	2億9,135万円	1億2,279万円	42.1%
入湯税	2,699万円	1,359万円	50.4%
合計	42億5,266万円	26億5,685万円	62.5%

市民1人当たり負担額 **10.97万円**

※ 住民基本台帳人口（令和7年9月30日現在）38,757人

市税の構成比



# 市債の状況

令和7年9月30日現在の借入金残高の内訳です。

区 分	残 高	備 考
一 般 会 計	296億2,874万円	
特 別 会 計	2億3,119万円	皆瀬更生園特別会計
公 営 企 業 会 計	113億1,934万円	水道事業会計、下水道事業会計
合 計	411億7,927万円	

市民1人当たり負担額

106.25万円

※ 住民基本台帳人口（令和7年9月30日現在）38,757人

市債は、公共施設などを造るために国や金融機関から借り入れたお金です。  
複数年にわたって返済することで施設を使う次の世代にも費用を負担してもらうことになり、世代間の負担を公平にすることができます。



# 特別会計の執行状況

令和7年度予算に対する歳入・歳出の執行状況です。（令和7年9月30日現在）  
予算に対し、どのくらいの収入・支出があったかを表しています。

会 計	予算現額	収入額 (収入率)	支出済額 (執行率)
国民健康保険特別会計	44億5,180万円	18億5,474万円 (41.7%)	16億6,625万円 (37.4%)
後期高齢者医療特別会計	6億7,581万円	2億2,121万円 (32.7%)	1億8,265万円 (27.0%)
介護保険特別会計	60億8,702万円	24億2,241万円 (39.8%)	23億5,341万円 (38.7%)
養護老人ホーム愛宕荘特別会計	3億2,548万円	1億3,979万円 (42.9%)	1億4,191万円 (43.6%)
皆瀬更生園特別会計	3億3,755万円	9,336万円 (27.7%)	1億5,440万円 (45.7%)
湯沢財産区特別会計	3,121万円	3,415万円 (109.4%)	5万円 (0.1%)
院内財産区特別会計	3,635万円	2,988万円 (82.2%)	1,041万円 (28.6%)
秋ノ宮財産区特別会計	1,545万円	1,546万円 (100.0%)	260万円 (16.8%)

保険料や使用料など特定の収入によって運営する事業の会計を特別会計といいます。  
事業ごとの収支を明確にするために、一般会計と区別して経理しています。

